

# HEAD

Home & Environment Advanced Design

一般社団法人HEAD研究会

フロンティアTF

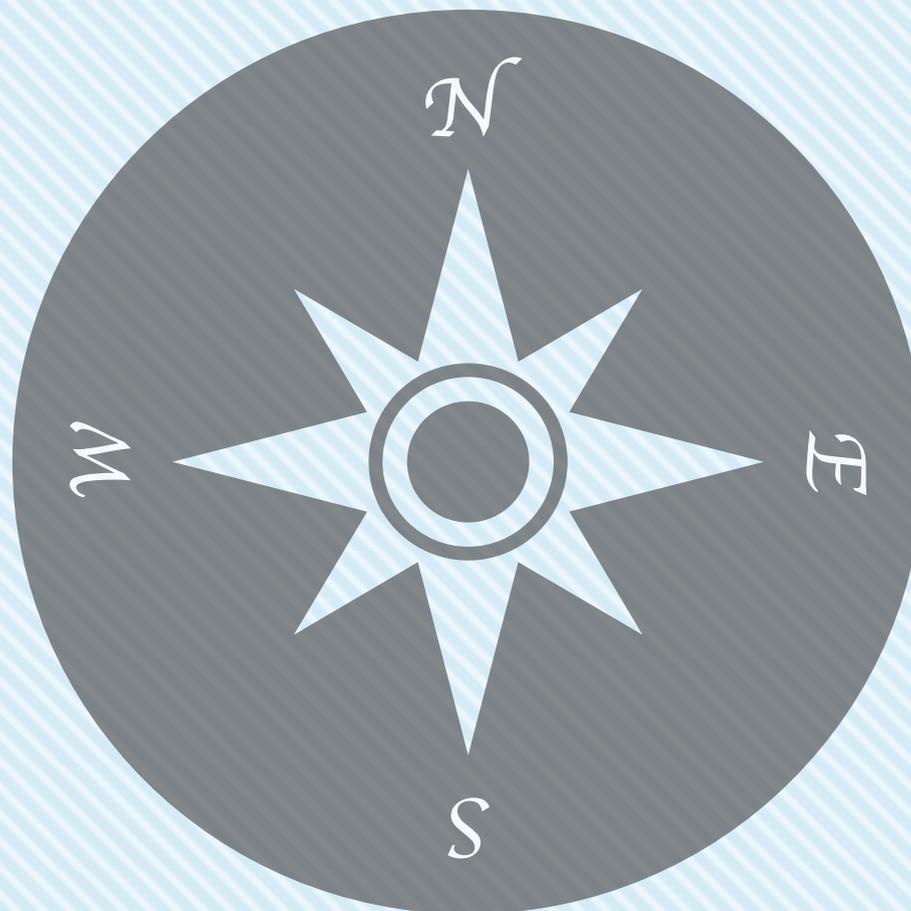
別  
の  
働  
き  
方  
、  
新  
し  
い  
生  
き  
方  
  
オ  
ル  
タ  
ナ  
テ  
ィ  
ブ  
!!

別  
の  
働  
き  
方  
、  
新  
し  
い  
生  
き  
方

ミ  
コ  
ト

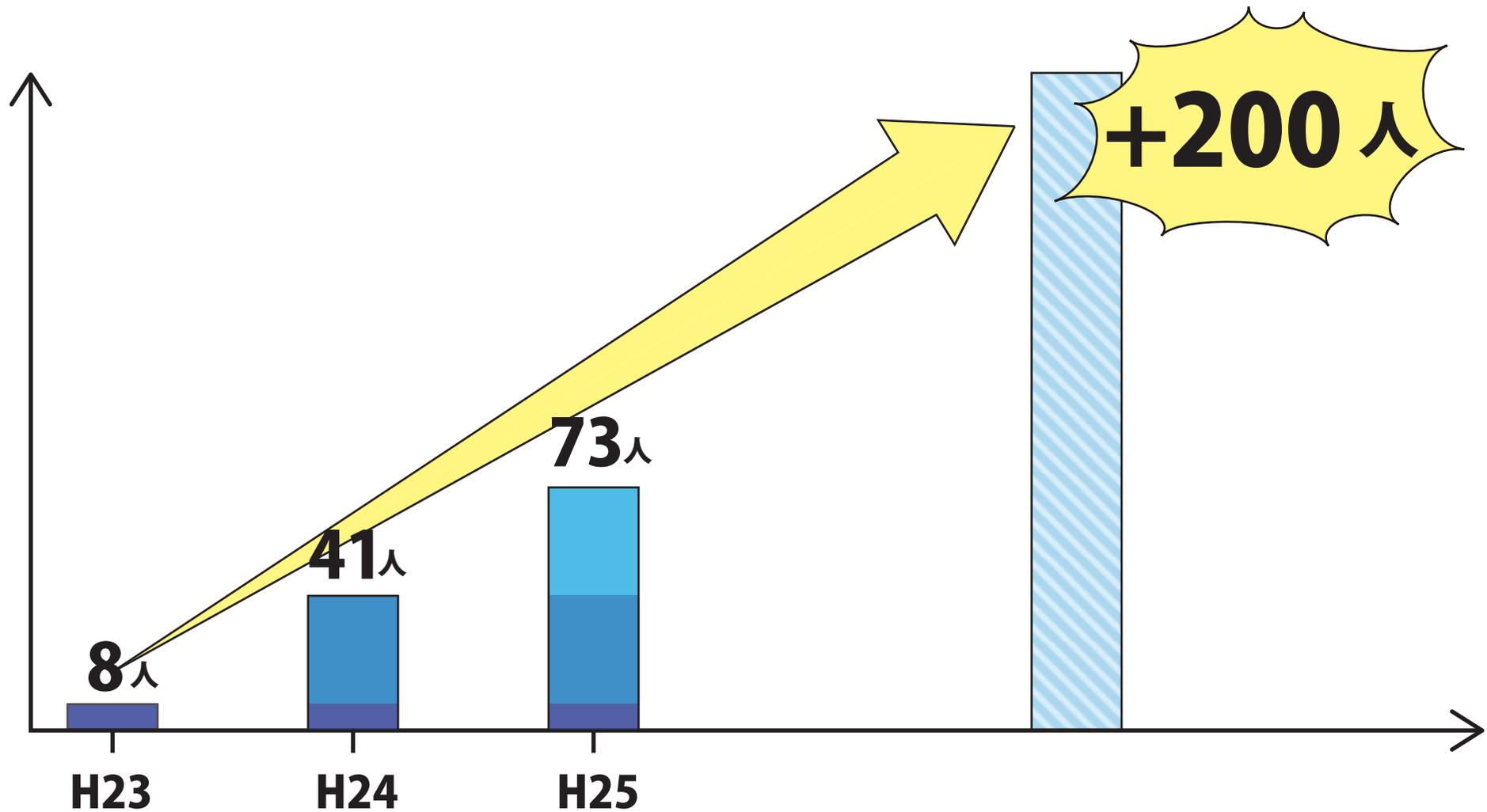
Frontier TF  
ANNUAL  
REPORT  
2013

# 1. 理念



# フロンティアのその先へ

## 2. 目標



**U-30 会員 2000 人 増員**

### 3. 業績

学生参加者総数

**166**名

入会者

**143**名  
Home & Environment Advanced Design

当日入会、または2週間以内に入会した人

参加者総数

**447**名

USTREAM 視聴者

約 **738**名

2014年03月27日現在

事業収支

¥ **35,716**

# 4. 事業

連続シンポジウム

## シゴト ~別の働き方、新しい生き方~ オルタナティブ

H25 年度は、建築を学ぶ学生を中心として、若い社会人や大学生を対象に、新しい仕事のフィールドや働き方を考える内容の連続シンポジウムを開催しました。

生きたい未来を実現するための、いままでにない新しい働き方と産業＝シゴトオルタナティブを最前線で体現する開拓者たちから、なぜ今の働き方に行き着いたのか？現在に至るまでにどんな思い、出会い、葛藤があったのか？一人一人のストーリーに歩み寄りました。

働くことは生きること？将来の見通しが悪い？ぶっちゃけシゴトなんかしたくない？  
こんな現代社会の大きなテーマであり課題、“働くという葛藤”、をもしろおかしく、なにより真剣に語り合う場となりました。

シゴトについて、  
働くことについて、  
“真剣に” 考えた。

HEAD 研究会 フロンティア TF



第1回

2013.8.23

3331Arts Chiyoda

「大学で建築を学んだけれど」

シゴト  
オルタナティブ



〈ゲストスピーカー〉



いしまるあきこ

きっかけ屋・一級建築士  
HEAD 研究会フロンティア TF 副委員長



ナカムラケンタ

日本仕事百科代表



馬場 未織

NPO 法人南房総リパブリック



林 厚見

株式会社スピーク共同代表  
「東京R不動産」ディレクター



〈モデレーター〉

島原万丈

HOME'S 総研所長/リノベーション住宅推進協議会

毎年1万人以上の卒業生を社会に排出し続けている建築学科。日本経済を支えてきたこの巨大な業界でメインストリームとは一線を画し、今までに無い仕事を独自に展開する4人が集結しました。面白いものだけを取り扱う仕事のポータルウェブサイトの仕掛人ナカムラケンタさん、南房総で自給自足を目指した社会作りに取り組む NPO 代表馬場未織さん、拠点を転々としながらヤドカリのように生きるセルフリノベーターいしまるあきこさん、そして建材流通と住まいの編集権をリデザインするディレクター林厚見さん。彼らはなぜ今の道を選び、開拓したのかを伺い、今後の自分たちの働き方=生き方を考えました。

日時：2013年8月23日 18:00~

会場：3331Arts Chiyoda コミュニティスペース

協賛：株式会社 NENGO

株式会社エコハウス

株式会社北九州家守舎

株式会社エインシェントテクノロジー

HEAD 研究会 フロンティア TF

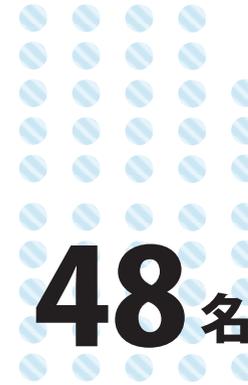
SA1 業績

会員

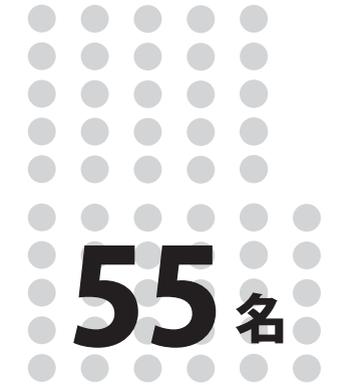
非会員

総参加者数

103名



48名



55名

参加学生

40名

参加学生所属大学  
千葉大学 13名  
芝浦工業大学 3名  
東京都市大学 3名  
首都大学東京 3名  
明治大学 2名  
工学院大学 2名

入会者

143名

Home & Environment Advanced Design

当日入会、または2週間以内に入会した人

USTREAM 視聴者

約200名

事業収支

¥17,785

2014年03月27日現在

# 第2回

2013.10.4

3331Arts Chiyoda

## 「自分の仕事は自分でつくる」

# シゴト オルタナティブ



### 〈ゲストスピーカー〉



## 伊藤 洋志

ナリワイ起業家/全国床張り協会会長



## 木下 斉

一般社団法人エリア・イノベーション  
アライアンス 代表理事



## 島崎 賢史郎

N magazine 編集長/明治大学4年生



### 〈コメンテーター〉

## ナカムラケンタ

日本仕事百科代表



### 〈モデレーター〉

## 島原万丈

HOME'S 総研所長/リノベーション住宅推進協議会

心躍るものに出会い、無我夢中になって行動し、気づいたらそれが仕事になっていた、まさに自分の仕事を自分でつくってしまった人たちが3331に集まりました。やればやるほど頭と体が鍛えられ、技が身に付く仕事=ナリワイ(生業)を提唱するナリワイ代表伊藤洋志さん。若干15歳でまちづくり会社の社長になり以来15年以上全国を飛び回りまちづくり活動に従事する事業家木下斉さん。大学サークルの活動の域を超越し、今やファッション業界に一石を投じる雑誌N magazineの編集長島崎賢史郎さん。彼らの鋭く尖った視点とみなぎるバイタリティを受け、自分の仕事は自分でつくるという選択への可能性を感じました。

日時：2013年10月4日 18:00~

会場：3331Arts Chiyoda コミュニティスペース

協賛：青豆ハウス

(株式会社メゾン青樹 × blue studio)

## SA2 業績

会員

非会員

総参加者数

113名

31名

82名

参加学生

51名

参加学生所属大学

- 明治大学 11名
- 千葉大学 7名
- 東京都市大学 5名
- 横浜国立大学 4名
- 工学院大学 3名
- 中央大学 2名
- 共立女子大学 2名

他

入会者

14名

Home & Environment Advanced Design

当日入会、または2週間以内に入会した人

USTREAM 視聴者

214名

2014年03月27日現在

事業収支

-¥118,132

# 第3回

2013.12.13

3331Arts Chiyoda

## 「未来の工務店のすがた」

# シゴト オルタナティブ



### 〈ゲストスピーカー〉



## 加藤 溪一

HandiHouse project



## 河野 直

つみき設計施工社



## 迎川 利夫

相羽建設常務取締役



## 馬場 正尊

建築家 / Open A 代表



## 島原 万丈

HOME'S 総研所長 / リノベーション住宅推進協議会

従来の請け負い型ではない、これまでとはひと味違う家づくり・場づくりの可能性を私たちに与えてくれる建築施工集団が現れています。永く住み続けたいと思う家づくりを目指し、つながる人の暮らしを豊かにするまちの工務店相羽建設の迎川利夫さん。共に体を動かしながら、グッとくる家をつくるためにデザインから時には施主を巻き込んで工事まで自分たちで行う多能工集団 HandiHouse project の加藤溪一さん。地域に密着しながら、理想の家を住み手・職人・設計者とともにつくる小さな工務店つみき設計施工社の河野直さん。東京 R 不動産の仕掛人の馬場正尊さんをコメンテーターに彼らの既成概念にとらわれない働き方と、未来の作り手の姿をざっくばらんに語り合いました。

日時：2013年12月13日 18:00~

会場：3331Arts Chiyoda コミュニティスペース

協賛：株式会社クルーズ

HEAD 研究会 フロンティア TF

## SA3 業績

### 総参加者数

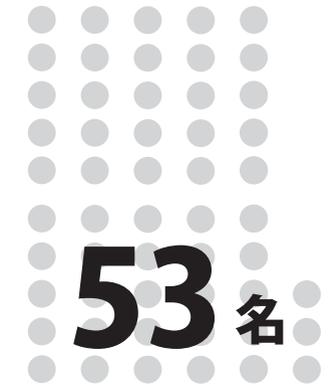
# 98名

### 会員



# 45名

### 非会員



# 53名

### 参加学生

# 38名

- 参加学生所属大学
- 明治大学 9名
- 日本大学 4名
- 千葉大学 4名
- 東京都立大学 3名
- 共立女子大学 2名
- 横浜国立大学 2名
- 首都大学東京 2名
- 工学院大学 2名
- 鳥取大学 他

### 入会者

# 143名

Home & Environment Advanced Design

当日入会、または2週間以内に入会した人

### USTREAM 視聴者

# 269名

2014年03月27日現在

### 事業収支

# -¥2,500

最終回

2014.3.4  
3331Arts Chiyoda

# 「家守という、ゴト 古くて新しい仕事」



〈ゲストスピーカー〉



青木 純

株式会社メゾン青樹



明石卓巳

株式会社レイデックス



伊藤菜衣子

暮らし方冒険家 / #heymeoto



〈コメンテーター〉

嶋田 洋平

株式会社らいおん建築事務所



〈モデレーター〉

島原万丈

HOME'S 総研所長 / リノベーション住宅推進協議会

江戸時代に江戸のまちの差配人として活躍した民間の町役人『家守』。現代の日本の縮退地域のエリア再生プロデュース・マネジメントや、不動産経営・管理の場面で、この古い町役人がなったような職能が全国で活かされています。東池袋というエリアを凌駕してマンションに暮らしを楽しむ住民のコミュニティを生み出しつづけるマンションオーナーの青木純さん。クリエイティブディレクターとして、空き家だらけの岡山市問屋町に200以上の事業者をまち集積させる影のプロデューサーの明石卓巳さん。熊本の空き家につぎつぎと居住者を住まわせ地域に新しい人をどんどん呼びこむ伊藤菜衣子さん。フロンティア TF 委員長嶋田洋平をコメンテーターに建築や不動産を学んだわけではないのに、彼らはどうしてこういう活動をしているのか、そして家守的職能がどうやれば現代の新しい仕事になりうるのかを会場を巻き込んで話し合いました。

日時：2014年3月4日 18:00~

会場：3331Arts Chiyoda コミュニティスペース

協賛：株式会社 西栗倉・森の学校

一般社団法人リノベーションまちづくりセンター

SA4 業績

会員

非会員

総参加者数

133名 42名 91名

参加学生

37名

参加学生所属大学  
明治大学 7名  
東京都市大学 3名  
千葉大学 3名  
共立女子大学 2名  
芝浦工業大学 2名  
九州工業大学 2名  
学習院大学 他

入会者

143名

Home & Environment Advanced Design

当日入会、または2週間以内に入会した人

USTREAM 視聴者

255名

2014年03月27日現在

事業収支

¥138,563

## 5. 委員長メッセージ

# “フロンティア、もっと前へ!”

僕たちフロンティアTFは、学生メンバーを中心に活動を行っている。昨年度の「七つの予言、その先の建築」と題したシンポジウムでは、建築・不動産の産業が、これから向かう先について各界のフロントランナーにお越しいただき議論した。その内容は現在出版準備を進めている。

今年度は、建築・不動産の産業の大転換機に、僕たちの仕事のフィールドはどのように変わっていくのか、日本人の住まい方、働き方、つまり暮らし方はどう変わっていくのかを探りたいと思った。特に建築・不動産にまつわる仕事がどのように変わっていくのかは、今大学で学ぶ若い学生にとっては最も関心のあるテーマではないかと考えたからだ。

島原万丈さんにナビゲートをお願いした全四回、非常に濃い登壇者たちとの質の高い議論が繰り広げられたと思っている。この議論も出版に向けた作業を開始しようと思っている。

さて、2014年度は、「これからの時代に求められる建築の新しい教育」について考えようと思う。産業の行く先、新しい仕事のあり方とくれば、それを担う人材の育成について議論するのがしっくりくると考えたからである。

産業、職業、教育この3部作をやりきって2014年度を最後に僕はフロンティアTFの委員長を退任しようと思う。

もっと若くてもっとパワフルでもっと未来が見えている強烈なフロントランナーに次期委員長を託そうと考えている。

最後の一年、HEAD研究会とフロンティアTFをますます前に進めて、新しい未来をみんなと一緒にちょっとでも垣間見ることができたら、と思っている。



フロンティアTF委員長

嶋田 祥平

## 6. モデレーターコラム -1



“「シゴトオルタナティブ～別の働き方、新しい生き方」というシンポジムのコンセプトは、主に対象となっている学生や若い社会人にとってはずいぶん挑発的な、あるいは意欲的すぎるものだったかもしれない。”

この企画の背景には、日本の建築教育が時代遅れになっているという問題意識がある。2013年度は消費税増税前の駆け込み需要と東北復興需要が重なり、建築業界は久しぶりの好況に沸いたが、それでもバブル期に170万戸の新築住宅を供給したような勢いはもはやなく、この先は人口減少と経済の停滞によって、新築建物の供給にほとんどの重心を置く日本の建設業は構造的な不況、否、時代的に役割を終えつつある産業と見なされている。そのような時代背景のもと、建築学生の就職口は先細り、大学・大学院で学んだ「建築」を活かす場が日本社会の中にはなくなりつつあるという閉塞感が、若い建築人材の心理に拡がっている。

しかし、現実社会からの建築界への要請はそう単純なものではない。

HEAD研究会の副理事長でもある松村秀一東京大学教授は、最新刊の『建築—新しい仕事のかたち 箱の産業から場の産業へ』の中でこう語る。「今、日本の建築の仕事は縮小している。少なくとも多くの人がそう思っている。だとしたら、建築という分野の『仕事』としての可能性も縮小していることになる訳だが、実際は逆だ。建築という分野の『仕事』の可能性は、今まさに大きく拡がる時機を得ている。」

要するに、社会から求められる建築という分野の「仕事」の有り様が変容して来ているということだ。そして大学の建築教育と進路指導の価値観がその変化に対応できていないということである。その狭間がフロンティア(=境界線)であり、オルタナティブ(=代替案)である。

## 6. モデレーターコラム -2

全4回の連続シンポジウムに迎えたのべ16人のゲスト（パネラーとコメンテーター）は、ことごとく建築という「仕事」のオルタナティブを体現した開拓者だった。彼らはまた自ら業を起こしたいいわゆるピン芸人的な个性的かつ魅力的なタレントだったため、学生や若い社会人にとっては少々ハードルが高かったかもしれないという危惧は残る。いや、それ無理ですって声が聞こえそうだ。

しかし、4回のシンポジウムを通して、私はモデレーターとして「就職するな。起業せよ。」というメッセージを発信したつもりはない。確かに新しいコンセプトによる起業は時代に求められている選択肢ではある。確かに新しいコンセプトによる起業は時代に求められている選択肢ではある。

しかし同時に、企業に就職して、組織の中で新しい仕事を作る、新しい働き方を模索することもまた新しい選択肢である。それが可能な時代であるし、早く大きく仕掛けようと思うなら有効な選択肢である。

重要なのは雇用形態ではない。それよりも議論を共有したいのは、「やりたい仕事を作り出す」戦略であったり、「好きを仕事にする」あるいは「仕事を好きになる」ための、心構えや働くスタンスの取り方であったり、広く言えば、仕事を通じて自分の人生を主体的に生きる知恵である。そのようなイメージが若い聴衆者に幾分かでも伝わったならば、モデレーターとしては嬉しく思う。

最後に個人的な感想を付け加えさせていただければ、まさにオルタナティブを体現している

ゲストの話を、直接・もっとも近い場所で聞いたことは実のところ、私自身が誰よりも刺激を受け勉強になった。建築を学んだことがなく、サラリーマンの経験しかない私に、建築学生の新しい働き方に関する連続シンポジウムのモデレーションやってと携帯電話一本で依頼してくるフロンティアTF委員長もどうかと思うが、今回のモデレーターはかなり役得であったと思う。嶋田洋平氏の無茶ぶりに、あらためて感謝の意を表しておきたい。

HOME'S 総研・HEAD 研究会

島原万丈

## 7. 登壇者コラム

### 『フロンティアな“番組”づくり』

建築と不動産という似た業界が、実は近くて遠いという実態があります。HEAD 研究会は、その2つの業界をじわじわと歩み寄せ掛け合わせることで、生まれる新しい“動き”だと感じています。その中でフロンティア TF は、学生や若い世代と共に様々な可能性を表現する“番組”のようなものではないでしょうか。

シンポジウム「シゴトオルタナティブ 初回:大学で建築を学んだけれど」に登壇し、私は自身の10年間の様々なシゴト(=建築設計からマスメディア等)を通じて「建築学科出身者がどこまでシゴトの幅を広げられるのか」を表現しました。登壇後、私のシゴトに関する取材が増えたのも、未来への可能性を感じた人たちがいたからでしょう。

私は登壇者のひとりでしたが、フロンティア TF の副委員長も務めています。表や裏のどちらも体験することは、どちらの立場になった時でも必ず役立ちます。フロンティア TF は、社会人の委員長や副委員長の他に、学生メンバーによって構成され、彼らによって当日のイベントが動いています。彼らも回を進めるごとに自主的に動き出し、それぞれの才能を活かし、未来のシゴトに結びつけています。

さて、この“番組”は、登壇者やナビゲーターだけではなく、観客、運営スタッフによって成り立っています。良い“番組”というのは、そこに关わる全ての人によって創られるのではないのでしょうか。これからも続くフロンティアな“番組”づくりに参加して、共に未来を創り出して頂けたら幸いです。



第一回登壇者

きっかけ屋・一級建築士・フロンティア TF 副委員長

いしまるあきこ

## 8. 学生レポート



シゴトって、働くって、どういうことだろう。建設業界は、縮小して行くと言われてるし、未来は暗いのかなあ、建築学科の学生には建設業界しか道はないのかなど、働くことに対して不安ばかりでした。そんなことを考えていた2013年の春、委員長の嶋田さんの、”建築学科の学生はただ知らないだけで本当にいろいろな選択肢、可能性があるんだ”という言葉に胸打たれ、1年間フロンティアTFに携わって行くことを決めました。

そうしてシゴトオルタナティブを追いかけた1年間は、”普通の”就職活動では出会えない方々との刺激的な出会いはもちろんのこと、生まれて初めての100人規模のイベントを学生主導で運営する大変さと、支えてくれる学生の仲間やフロンティアTFの方々の有り難さ。これらを痛感している間に、驚くほどあっという間に過ぎていきました。私自身をはじめ、運営に関わってくれた学生メンバーにとっても、忘れられない経験になったと思います。

第三回の登壇者HandiHouse projectの加藤溪一さんが懇親会の乾杯のときに、こんな風に仰っていました。

”未来は真っ暗で見えないんじゃない。まぶしすぎて目がくらんでいるから！”

この言葉を、将来への希望を。全国のシゴトに悩む学生に知ってもらいたいと思います。そのためにも現在、シンポジウムの書籍化を進めています。

私はこれから、2年間大学院に通います。本格的にシゴトと向き合うのはまだ先ですが、シゴトオルタナティブを通して働くって何？と1年間考えたこと、連続シンポジウムを無事終了できたこと、将来一緒にシゴトをしたいと思える仲間がいることに自信をもって、輝かしい未来で働くことを楽しみに。

最後に、未熟者ながらプロジェクトマネージャーとして最後まで任務を全うするために励ましてくれた先輩、支えてくれた学生の仲間たち、見守ってくれたHEAD研究会のみなさまに深く感謝いたします。この先も、どうぞよろしくお願いいたします。

フロンティアTFメンバー  
明治大学

秋山 菜保子



## 9. 財務セクション (SA1)

### 【収入の部】

項目	単価	数量	金額
参加費(シンポ／一般)	¥1,000	39	¥39,000
参加費(懇親会／学生)	¥1,000	6	¥6,000
参加費(懇親会／一般)	¥2,000	37	¥74,000
協賛金	¥50,000	4	¥200,000
収入合計			<b>¥319,000</b>

### 【支出の部】

項目	単価	数量	金額
シンポジウム会場費	¥61,250	1	¥61,250
懇親会費	¥58,474	1	¥58,474
登壇者謝金	¥90,000	1	¥90,000
UST撮影料	¥40,000	1	¥40,000
広告費	¥20,350	1	¥20,350
雑費	¥17,141	1	¥17,141
スタッフ交通費	¥2,000	7	¥14,000
支出合計			<b>¥301,215</b>

**SA1収支**

**¥17,785**

## 9. 財務セクション (SA2)

### 【収入の部】

項目	単価	数量	金額
参加費(シンポ／一般)	¥1,000	35	¥35,000
参加費(懇親会／学生)	¥1,000	15	¥15,000
参加費(懇親会／一般)	¥2,000	24	¥48,000
協賛金	¥54,200	1	¥54,200
ドリンクチケット差額	¥500	1	¥500
収入合計			<b>¥152,700</b>

### 【支出の部】

項目	単価	数量	金額
シンポジウム会場費	¥56,000	1	¥56,000
懇親会費	¥53,810	1	¥53,810
登壇者謝金	¥80,000	1	¥80,000
UST撮影料	¥38,000	1	¥38,000
広告費	¥18,500	1	¥18,500
雑費	¥12,522	1	¥12,522
スタッフ交通費	¥2,000	6	¥12,000
支出合計			<b>¥270,832</b>
<b>SA2収支</b>			<b>-¥118,132</b>

## 9. 財務セクション (SA3)

### 【収入の部】

項目	単価	数量	金額
参加費(学生)	¥1,000	27	¥27,000
参加費(一般)	¥3,000	49	¥147,000
協賛金	¥50,000	1	¥50,000
収入合計			<b>¥224,000</b>

### 【支出の部】

項目	単価	数量	金額
シンポジウム会場費	¥42,000	1	¥42,000
懇親会費	¥38,966	1	¥38,966
登壇者謝金	¥70,000	1	¥70,000
UST撮影料	¥33,000	1	¥33,000
広告費	¥18,660	1	¥18,660
雑費	¥17,874	1	¥17,874
スタッフ交通費	¥1,000	6	¥6,000
支出合計			<b>¥226,500</b>

**SA3収支**

**-¥2,500**

## 9. 財務セクション (SA4)

### 【収入の部】

項目	単価	数量	金額
参加費(学生)	¥1,000	24	¥24,000
参加費(一般)	¥3,000	87	¥261,000
協賛金	¥50,000	2	¥100,000
テキスト販売利益	¥7,580	1	¥7,580
収入合計			<b>¥392,580</b>

### 【支出の部】

項目	単価	数量	金額
シンポジウム会場費	¥54,600	1	¥54,600
懇親会費	¥44,142	1	¥44,142
登壇者謝金	¥40,000	1	¥40,000
登壇者交通費	¥62,990	1	¥62,990
UST撮影料	¥33,000	1	¥33,000
雑費	¥19,285	1	¥19,285
支出合計			<b>¥254,017</b>
<b>SA4収支</b>			<b>¥138,563</b>

**SA全体収支**

**¥35,716**

## 10. 協賛企業

I

株式会社 NENGO      株式会社北九州家守舎  
株式会社エコハウス      株式会社エインシエントテクノロジー

II

青豆ハウス      (株式会社メゾン青樹 × blue studio)

~ 別の働き方、新しい生き方 ~

III

株式会社クルーズ

IV

株式会社西栗倉・森の学校  
一般社団法人リノベーションまちづくりセンター

# 11. 組織概要



Home & Environment Advanced Design  
フロンティア TF2013

副委員長



いしまるあきこ  
いしまるあきこ一級建築士事務所



島原万丈  
Home's 総研



松野由夏  
HUTTE



秋山菜保子  
明治大学



原田将太郎  
千葉大学大学院

委員長



嶋田洋平  
らいおん建築事務所

副委員長



加藤研介  
Plus Ten Associates



深澤晃平  
フリーランスライター & エディター



矢部智仁  
リクルート住まい研究所



荻野高弘  
千葉大学



磯圭一  
千葉大学大学院

## USTREAM 技術者



加賀誠人  
Project92

## 学生スタッフ (全 23 名)

明治大学 /

大神洋輔  
金安淳美  
六車 柁俊  
相川雄慎  
小林静香  
平野翔子  
佐藤奈月  
奈良岳  
川久保航  
坂本和繁

東京都市大学 /

早稲田大学 /

千葉大学大学院 /  
千葉大学 /  
工学院大学 /  
首都大学東京 /  
共立女子大 /

芝浦工業大学 /  
東京芸術大学大学院 /  
日本大学 /

藤澤菜月  
菅直行  
渡邊早織  
金田有沙  
大井真紀  
佐野恭子  
柳川莊子  
須田康太  
宮井楓

## HEAD 事務局

明治大学 / 増田英貴  
工学院大学大学院 / 石井千歳  
首都大学東京 / 斎藤真琴  
学習院大学 / 河田亜子

## フロンティア TF アニュアルレポート 2013

発行日	2014年3月末日
発行	一般社団法人 HEAD 研究会フロンティアタスクフォース
編集長	秋山菜保子（明治大学）
編集	荻野高弘（千葉大学）
委員長	嶋田洋平





*Frontier TF*  
**ANNUAL**  
**REPORT**  
**2013**